

様式 1

環境保全行動
自動車使用管理 計画提出書

2025 年 7 月 25 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所 氏 名 (代表者名)	〒 004-8588
	札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
	北海道コカ・コーラボトリング株式会社
	代表取締役社長 酒寄 正太 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		10 飲料・たばこ・飼料製造業												
事業の規模	従業員数	861		人	原油換算した		1,095		kl					
	使用床面積	78,465		m ²	燃料・熱・電気の合計量									
	事業所数	7	事業所	自動車使用台数				台						
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン	N ₂ O	HFC	非エネルギー起源CO ₂	PFC	SF ₆	NF ₃					
		2,250	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂				
提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)						☐ 第 1 項 ☐ 第 3 項						
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)						☐ 第 1 項 ☐ 第 2 項						
計画書の担当部署		担当部署名												
		担当者氏名												
		電話/FAX												
		電子メールアドレス												
計画期間		2025	年	4	月	1	日	～	2028	年	3	月	31	日
環境保全行動 自動車使用管理 計画書		別添のとおり												
備考	環境マネジメントシステムの 認証登録の有無及びその種類	☐ 有 (認証名) ☒ 無												
	その他													

注 1 事業の概要は、事業所における日本標準産業分類の中分類項目に掲げる業種及びその業種に対応する日本標準産業分類における分類番号を記入してください。

2 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、4月1日現在で記入してください。

3 事業所数は、4月1日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

4 燃料・熱・電気の合計量は、計画期間の初年度の前年度に使用した量を原油換算して記入してください。

5 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則第4条に規定する方法で行ってください。

6 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

7 ☐のある欄には、該当する☐内にレ印を記入してください。

8 環境マネジメントシステムの認証登録がある場合は、認証登録の範囲が分かる書類の写しを添付してください。

備考 この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動計画書
自動車使用管理計画書

1 基本的な方針

我社は、責任ある企業市民として、地球環境の保全に配慮した事業活動を行い、地域社会の豊かな環境の維持と社会の持続的な発展に貢献します。具体的には、①省エネルギー、省資源に努め、環境負荷を低減します。②事業活動に伴う廃棄物の削減と再資源化を促進するとともに、汚染の予防に努めます。③環境保全に対する全従業員の意識向上を図り、グループをあげて環境保全活動に取り組みます。④地域社会における環境保全活動への協力・支援を推進します。⑤環境に配慮した物品の購入を促進します。⑥環境関連法規制、コカ・コーラシステムが定める基準及びその他の要求事項を遵守します。

2 行動目標

【計画期間】

2025 年 4 月 1 日 ～ 2028 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値		目標削減率	目標数値		基準数値の 設定根拠	削減項目
	数値	単位		数値	単位		
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	2250	t	3 %	2180	t		
			%				
			%				
			%				
			%				
			%				

- 注 1 目標削減率は、基準数値（二酸化炭素排出量等）に対する削減率です。任意で設定してください。
- 2 目標数値は、基準数値と目標削減率から算出してください。
- 3 自動車使用管理計画策定義務を負う事業者は、自動車の使用に伴う二酸化炭素排出抑制に関する目標を必ず設定してください。
- 4 基準数値の設定根拠には、基準年等を記入してください。

行動目標	行動計画	責任部課	実行部課	2025 年度	2026 年度	2027 年度
のフ事業 消費活動 抑制に 伴う ーオ	定時退社日を部署ごとに設定	各事業所、グループ総務人事部	全社	実施予定	実施予定	実施予定
	ウォームビズ、クールビズの実施(夏季28℃、冬季20℃)	各事業所、グループ総務人事部	全社	実施予定	実施予定	実施予定
	昼休み時間の消灯実施	各事業所、グループ総務人事部	全社	実施予定	実施予定	実施予定
	事務所蛍光灯の間引き	各事業所、グループ総務人事部	全社	実施予定	実施予定	実施予定
同上	ロッカー、書庫、会議室等の不要時の消灯	各事業所、グループ総務人事部	全社	実施予定	実施予定	実施予定
	近い階はエレベータを使用せず階段を使用	各事業所、グループ総務人事部	全社	実施予定	実施予定	実施予定
	パソコンの省エネ設定により未使用時の電源オフ	各事業所	全社	実施予定	実施予定	実施予定

4 環境保全に係る実施組織体制

統括環境責任者

環境責任者

各部門（部門長）

各建屋（環境責任者）

5 その他（環境保全活動の取り組み等）

①北海道の環境保護活動を支援するため、北海道と、(財)北海道環境財団とおもに北海道の水資源を守る活動「北海道e-水(イーミズ)プロジェクト」に取り組み、「い・ろ・は・す天然水555ml」の売上の一部を、活動資金として支援団体に寄付している。②森に学ぼうプロジェクト(後援:環境省、林野庁)の一環として植樹を行っている。③使用済みペットボトルをリサイクルし、新たなペットボトルとして循環利用する「ボトルtoボトル」を推進することで、新たな石油資源の使用を抑えCO2排出量を削減に努める。④ピーク時間をさけて夜間に集中冷却。日中の冷却用電力をゼロにする、ピークシフト自販機を積極的に導入する。